

下記の表は、LifeKeeper for Linux v9環境でご利用いただくことができる、認定済みのストレージ一覧表です。ハードウェアの構成要件にご利用ください。

【認定済み共有ストレージについて】

LifeKeeperの共有ストレージとして利用するストレージは、種類によって認定が必要なものや不要なものがあります。

SCSI / FC / iSCSI / SAS など、LifeKeeperのSCSI-2/3 Reservationを用いたロッキングを行うことが前提となる。複数のノードで同一のデータ参照する共有ストレージは認定されたものを利用いただく必要があります。下記の表に記載があるかご確認ください。

【認定が必要ないストレージ】

またQuorum/Witness Server K8を利用したSCSI-2/3によるReservationを行わないことが利用前提となっているストレージについても、同じく認定が必要です。後でのご確認ください。

以下の構成においては、ストレージ認定がございません。

・NASストレージ(NAS Recoveryが必要)

・DataKeeperによるDataReplicationを構成するディスク複製全般(内蔵、外付)は問いません)

【ご利用いただけるハードウェア】

USBやIEEE1394などで接続する、コンシューマー向けストレージの利用はサポートされません。

Table with 7 columns: ベンダー名, ストレージモデル名, バイオタイプ, 接続形式, サポート可否, 必要なARK(\*3), サポートするLKのバージョン, 注事項. Rows include Dell, Fujitsu, Hitachi, HP, IBM, Lenovo, NEC, and Pure Storage.

(\*1) iSCSIストレージの構成に関して
LifeKeeperはiSCSI認定を必要としないが、iSCSI各のストレージのサポート状況については下記のマトリクスを参照ください。
http://www.emc.com/isna/compatibility

(\*2) 接続構成の説明
vSphere (RDML) VMware ESX/サーバーで共有ディスクをRaw Device Mapping (RDM)で接続した構成 (\*5)
Multi Path (DMMP) Device Mapper Multipathを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Multi Path (EMPD) ETERNUS MultiPath Driverを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Multi Path (HCLM) Hitachi Dynamic Link Managerを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Multi Path (RDAC) IBM Redundant Disk Array Controllerを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Multi Path (NECSPS) Storage StoragePathSaviorを使用した共有ディスクのマルチパス構成
Single Path (DMMP) Device Mapper Multipathを使用した共有ディスクのシングルパス構成
Single Path (RDAC) IBM Redundant Disk Array Controllerを使用した共有ディスクのシングルパス構成
Single Path 特別なマルチパスドライバーを用いないシングルパス構成

(\*3) マルチパスソフトウェアに関して
LifeKeeperはハードウェア前提の構成要件については必ず各ベンダーのサポート情報を確認してください
LifeKeeperはソフトウェア前提の構成要件については必ず各ベンダーのサポート情報を確認してください
LifeKeeperはソフトウェア前提の構成要件については必ず各ベンダーのサポート情報を確認してください

(\*4) サポートするLifeKeeperバージョンに関して
このドキュメントは、LifeKeeper for Linux v9を対象としています。
以前のバージョンのサポートマトリクスについては、各バージョンのリリースノートをご確認ください。

(\*5) VMware vSphereでの共有ディスクの利用について
以下のURLにある、VMware vSphereでの共有ディスクを利用する際の構成ガイドをご確認ください。
http://k.sss.com/?p=1295
最新のvSphereに関する認定は物理環境とvSphere環境で構成されています。そのため、バイオタイプの「iSCSI」の接続構成の項目に「vSphere」の表記は行なっていません。